

いわて花巻空港の令和 4 年度収支（試算）について

1 公表の目的等について

空港運営に関する情報の開示など透明性を確保し、**空港運営の効率化**を図るため、平成 21 年に国土交通省が、**国管理空港**の収支状況を公表した。

これを受けて本県では、平成 22 年（平成 20 年度分）から、いわて花巻空港の収支を試算し公表してきたところ。

・「キャッシュフローベースの収支」

県一般会計歳入歳出決算から、いわて花巻空港に係る現金の出納を抽出し収支を把握したもの

・「貸借対照表」

いわて花巻空港の資産（土地、建物及び工作物等）や負債を一覧で示したもの

2 キャッシュフローベースの収支について（資料 1）

(1) 空港整備及び維持運営など全ての経費の収支

▲13 億 4,700 万円（R 3：▲13 億 9,500 万円、4,800 万円の改善）

主な要因：歳入（着陸料収入）の増

(2) (1)のうち、維持運営の経費のみに係る収支

▲6 億 3,100 万円（R 3：▲6 億 9,300 万円、6,200 万円の改善）

3 貸借対照表について（資料 1）

(1) 資産 422 億 8,200 万円（R 3：420 億 6,500 万円、2 億 1,600 万円増）

うち有形固定資産 422 億 8,100 万円（R 3：420 億 6,500 万円、2 億 1,600 万円増）

主な要因：土地再評価による増

(2) 負債 81 億 6,900 万円（R 3：86 億 1,100 万円、4 億 4,100 万円減）

主な要因：地方債（県債残高）の減

(3) 純資産 341 億 1,200 万円（R 3：334 億 5,500 万円、6 億 5,800 万円増）

その他 経済効果の試算について（資料 2）

令和 4 年度のいわて花巻空港を利用した観光客の旅行支出額を経済効果として試算すると、その額は 49 億 1,500 万円（R 3 試算結果：18 億 3,700 万円、30 億 7,800 万円増）となる。

令和4年度 いわて花巻空港の収支について

1 キャッシュフローベースの収支

(1) 空港整備及び維持運営など全ての経費

(金額：百万円)

項目	R3	R4	差引増減
歳入 A	864	955	91
着陸料等収入	79	145	66
土地建物等貸付料収入	45	47	2
国庫補助金等収入	251	237	▲ 14
航空機燃料譲与税	38	34	▲ 4
借入金	320	307	▲ 13
地方債償還時交付税収入	131	115	▲ 16
諸収入	0	0	0
分担金・負担金・寄付金	0	0	0
繰越金	0	71	71
歳出 B	2,188	2,215	27
空港等維持運営費等	758	784	26
土地建物借料	3	3	0
県有資産所在市町村交付金	130	127	▲ 3
空港整備事業費	469	475	6
環境対策費	0	0	0
借入金償還	828	826	▲ 2
災害復旧関連費	0	0	0
歳入歳出差額 C=A-B	▲ 1,324	▲ 1,259	65
翌年度への繰越財源 D	71	88	17
実質収支額 C-D	▲ 1,395	▲ 1,347	48

(2) (1)のうち維持運営の経費のみを抽出

(金額：百万円)

項目	R3	R4	差引増減
歳入 A	234	283	49
着陸料等収入	79	145	66
土地建物等貸付料収入	45	47	2
国庫補助金等収入	21	3	▲ 18
航空機燃料譲与税	38	34	▲ 4
借入金	52	17	▲ 35
諸収入	0	0	0
分担金・負担金・寄付金	0	0	0
繰越金	0	37	37
歳出 B	890	914	24
空港等維持運営費等	758	784	26
土地建物借料	3	3	0
県有資産所在市町村交付金	130	127	▲ 3
歳入歳出差額 C=A-B	▲ 656	▲ 631	25
翌年度への繰越財源 D	37	0	▲ 37
実質収支額 C-D	▲ 693	▲ 631	62

～歳入の主な変化～

- ・着陸料等収入の増（コロナ禍からの回復）
- ・繰越金の増（空港整備事業及び除雪車両購入に係る繰越）

(注) 表示単位未満を四捨五入しているため、増減が一致しない部分がある。

2 貸借対照表（令和5年3月31日現在）

(金額：百万円)

借方	貸方
[資産の部]	[負債の部]
1 公共資産 <u>42,282</u>	1 地方債 <u>7,971</u>
(1) 有形固定資産	2 未払金 <u>0</u>
土地 <u>39,280</u>	3 退職手当引当金 <u>198</u>
立木 <u>83</u>	負債合計 <u>8,169</u>
建物 <u>674</u>	
工作物 <u>1,971</u>	[純資産の部]
備品 <u>272</u>	純資産合計 <u>34,112</u>
建設仮勘定 <u>0</u>	
有形固定資産合計 <u>42,281</u>	
(2) 無形固定資産 <u>1</u>	
2 その他 <u>0</u>	
(1) 未収金 <u>0</u>	
(2) 回収不能見込額 <u>0</u>	
資産合計 <u>42,282</u>	負債・純資産合計 <u>42,282</u>

※ 有形固定資産の減価償却累計額は、10,215 百万円です。

令和4年度におけるいわて花巻空港の経済効果（旅行支出額）の試算について

1 試算の考え方

(1) 国際線

①外国人旅行支出額

外国人空港利用者数 × 1人当たり旅行支出額

②日本人旅行支出額

外国へ旅行する日本人空港利用者数 × 1人当たり旅行前後の支出額

(2) 国内線

①観光客旅行支出額

国内線空港利用者数 × 観光目的の利用者割合 × 1人当たり旅行支出額

2 試算結果

経済効果（旅行支出額）= **49億1,500万円** （R3：18億3,700万円）

（国際線0万円＋国内線49億1,500万円）

(1) 国際線（0万円）（R3：0万円）

国際線運休のため

(2) 国内線（49億1,500万円）（R3：18億3,700万円）

	旅行支出額		
	（千円） a=b*c	観光客数（人） ※1 b	1人当たり旅行支出額 （円）※2 c
札幌線	988,533	24,025	41,146
名古屋線	1,271,165	30,894	
大阪線	1,644,976	39,979	
福岡線	552,879	13,437	
神戸線	457,502	11,119	
計	4,915,055		

※1 観光目的の利用者（推計値）

※2 出典：観光庁「旅行・観光消費動向調査2022年年間値（確報）」

3 経済効果（旅行支出額）の推移

（単位：千円）

	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
国際線	1,101,022	0	0	0
国内線	4,510,353	988,345	1,836,771	4,915,055
計	5,611,375	988,345	1,836,771	4,915,055